

令和4年4月27日
横尾委員提出資料

第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理（仮称）
骨子イメージ（案）への意見について

- ・ 1 ページ、＜社会を取り巻く状況等＞には、GIGA スクール構想に基づく一人一台環境の実現に向けた取組が進んでいることなど、現代の社会及び学校においても急速にデジタル化を進めている点を前提として明記すべき。
- ・ 2 ページ、【生涯学習・社会教育が果たしうる役割】のうち、「より良く生きようとする」の部分は、「より良い人生を拓こうとする」という表現としてはどうか。
また、「意思」については、「意志」とするのが好ましいのではないかと。
- ・ 2 ページ、「○生涯学習を通じたウェルビーイングの実現」の項目のうち、2つめの・の「相互性」は「相互補完性」という表現としてはどうか。
また、3つめの・の「人格の形成を図ることを保証することにも繋がるものである」の部分は「人格の形成を図る上でも重要である」という表現としてはどうか。
- ・ 4 ページ、「○基本的な考え方の整理」の項目のうち、2つめの矢印の「ICT の活用など取り組むべき課題について整理する」の部分は「ICT を活用した新たな取組の創造を検討する」という表現が好ましい。
- ・ 4 ページ、「2）公民館等の社会教育施設の機能強化」の項目のうち、1つめの・の「多くの情報から正しい情報を適切に取捨選択できる」の部分は「多くの情報から正しい情報を適切に取捨選択・活用できる」という表現としてはどうか。
また、2つめの・の「図書館のデジタル化を図り、」の部分は、何をどこまで、どのようにデジタル化するのが必ずしも明らかではないので、具体的な内容が分かるように表記すべきではないかと。将来ビジョンの共有ができなければ、妥当で有効な政策推進に至らないと考える。
- ・ 5 ページ、一番上の・では「地域課題解決のための学び」とあるが、もっと具体的にイメージできるように表記しないと、全国の現場も困惑するのではないかと。抽象的な印象が強い。